

全国港湾Fax通信

No.

(公・事・取扱注意・親展)(写)	(発番) 全国港湾19FAX第71号
(宛先) 各 四役、中執、単組委員長、地区港湾議長 殿	2020年 4月 7日 時 分
(件名)	(発信者) 全国港湾書記局

新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大に関する組合員の皆様へのメッセージ

(本文)	<p>4月7日(火)に開催した「基本的対処方針等諮問委員会」の議論などを経て、「緊急事態宣言」を正式に発令することがマスコミ等で報じられた。実施期間は同日から5月6日までの1カ月間。東京のほか、埼玉、千葉、神奈川、大阪、兵庫、福岡の深刻な7都府県が対象となった。</p> <p>この間、全国港湾は4月3日に新型コロナウイルス感染拡大と「緊急事態宣言」等への対応として、日本港運協会、国土交通省、厚生労働省に対して緊急の申入れをおこなったところです。</p> <p>こうした状況に対して、4月7日在京「常任中執会議」を開催し、対応を検討した。各単組は、留守にはしないが交代で事務所での対応を行うこととした。その上で、港運事業が国民の経済、暮らしを支える根幹であり、内外貿易の迅速かつ確実に輸送されことが不可欠であり、感染リスクにさらされながら日々奮闘する組合員に対して、糸谷中央執行委員長が連帯をこめて、メッセージを発表することとした。</p>
------	---

以上

- ＜添付＞ ① 新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大に関する皆さんへのメッセージ
② 国交省が日本船主協会及び外国船舶協会への港湾労組からの要望について

新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大に関する組合員の皆さんへのメッセージ

組合員の皆さん　日々の仕事に大変ご苦労されていることと、全国港湾の取り組みにご協力いただいていることに、あらためて感謝と敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的な感染拡大、パンデミックの進行に、日常業務だけでなく、命と暮らしへの不安が募る毎日をごぞれています。それは、全国港湾に結集するすべての仲間とその家族に共通するものです。

地球規模で動く、生活物資はじめ社会に供給される貨物の90%は海上運送が担っています。その貨物の安定的輸送、そして何よりも、医療機器をはじめとした感染拡大を防ぐ諸物資を目的地に届けるという、パンデミックとのたたかいに私たち港湾労働者は重要な役割を果たしています。

4月7日、政府は7都府県(東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・兵庫・福岡)を対象に「緊急事態宣言」を発しました。これにより、多くの国民(市民)が、自宅待機やテレワークという状況になりますが、港湾労働者は新型コロナウイルスの危険にさらされながら港で働くを得ません。

全国港湾は、日港協や関係行政(国土交通省、厚生労働省)に対し、港湾労働者の安全確保を第一とした対策を求めた申入れを行っています。同時に、日々流動する事態に対応するため、組合員の皆様から「不安や要望」を週単位で集約して、これらを日港協や行政に提起していく取り組みを進めています。どのようなことでも結構ですので、全国港湾書記局に情報を寄せてください。全国の仲間が手を携え、職場・地域が一つになって、安全確保に努めたいと思います。

全国港湾は、仲間の命と暮らしが危険にさらされる事態を絶対に看過しません。そのために、情報を共有し、知恵と力を合わせて頑張りぬきましょう。

2020年4月7日

全国港湾労働組合連合会
中央執行委員長 糸谷 欽一郎

事務連絡
令和2年4月7日

(一社) 外国船舶協会 ご担当者様

国土交通省港湾局港湾経済課

港運労組からの要望について

去る4月3日に、港湾労働者の労働組合の全国組織である全国港湾及び港運同盟から国土交通省港湾局に対し、新型コロナウイルス感染症対策に関して、別紙のとおり緊急申入れがあったところ、別紙の記1.(3)において「港湾労働者が触れる本船設備の消毒、積み荷の事前チェックなど、荷役作業での感染防止の措置をとるよう、船社など関係者に要請すること」についてご要望を頂いたことから、お知らせさせて頂きます。

なお、この「本船設備」とは、具体的にはタラップ、トイレ、荷役機械、船内荷役の際の休憩や食事に使用する部屋などを想定しているとのことであり、「積み荷の事前チェック」とは、新型コロナウイルス感染症の感染が広がっている地域からの貨物などに問題がないかの確認などを想定しているとのことでした。

貴協会の会員事業者において新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を検討される際の参考として頂ければ幸いです。

ご不明の点などございましたら、下記担当までご連絡下さい。

(本件担当)

国土交通省港湾局港湾経済課
牧田課長補佐、坂本対策官
直通：03-5253-8629
makita-s2jc@mlit.go.jp
sakamoto-h2dq@mlit.go.jp